



高田小運動会



高田小だより

「自主、自立、自信」やればできるの体験を支える学校づくり

R3. 9. 29発行
文責：校長

さわやかな秋晴れの下、9月25日(土)に本校で運動会を行いました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で低・中・高の3部構成での実施としました。テーマは「最後までやりぬき なかまを応援 つなげ高田魂」。子供たちは、厳しい残暑が続く中でしたが、約二週間練習をがんばり、運動会を迎えました。

低学年の部

第一部 (低学年)の最初の競技は一年生の徒競走からでした。一年生にとっては小学校生活初めての運動会です。まだ真新しい体育服を身にまとった一年生は声援を受けながら40m弱の距離を一生懸命走っていました。2年生の徒競走は1年生より少し長い距離を走りました。さすがにゴール近くではスピードが落ちていきましたが、最後まで精一杯がんばっていたのが印象的でした。1・2年生合同の表現では、スローテンポな曲の嵐の「カイト」に合わせてゆっくり丁寧な体を動かし、二曲目はリズムカルなテンポで笑顔を見せながら楽しく踊りました。定番競技の玉入れは、練習ではなかなか青団が勝たなかったようですが当日は青団が勝ち、大いに盛り上がっていました。

中学年の部

第二部 (中学年)は3年生の徒競走からスタートしました。2年生と同じ距離を走りましたが、スピード感はさすが3年生でした。団体競技の「ハリケーン」は、技術とチームワークが試される競技です。「3人ができるだけ円の中心に寄ってコーンを回り、横に並んだら一気に加速する」という動きがよくできていたチームが速かったようです。抜きつ抜かれつのレース運びで、とても盛り上がりました。4年生の徒競走はトラックを半周走りました。運動が得意な子供にとっても、100m弱の全力疾走はかなりきつかったようですが、みんな最後までしっかりと走りました。3・4年生合同の表現は、沖縄民謡の「あしびな」でした。歌詞に出てくる毛遊び(もうあそび)とはダンスパー



高学年の部

第三部 (高学年)は赤青両団合同の応援団による応援演技からスタートしました。これまで、団長を中心に、放課後に自主的に練習をがんばってくれていました。この日も、一糸乱れぬ動きで見事な演技を見せてくれました。徒競走は5年生も6年生も誰一人として力を抜かず最後まで全力で走りきる見事な走りっぷりでした。最後の種目は5・6年生合同の「威風堂々」です。引き締まった表情で整然と隊形移動する様子に加え、赤・青・黄・緑の四色の旗が力強く空を



ティーの様なもので、遊び庭とはその会場という意味だそうです。独特のリズムに加え軽快な踊りを見てみると、思わず「イーヤササ！」と声をかけたくなりました。

切る音など迫力満点で、壮大な曲に合わせて見事に表現しました。さすが高学年です。この運動会を機に、学校の模範となつて動いてくれることでしょう。運動会後は、PTA役員の方々をはじめ、保護者の方が児童テントを片付けてくださいました。特に、役員の方々には、早朝から裏方として大会の運営も支えてくださいました。今年もコロナ禍で制限が多く、十分な大会運営ができたとは言いがたいですが、運動会を無事に終えることができたのも、PTA役員の方々をはじめ、保護者の皆様、そして陰で支えてくださった地域の皆様のお陰だと実感しました。心から御礼申し上げます。今後も職員一同、「自主、自立、自信」やればできるの体験を支える学校づくりに邁進していきたいと思います。皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

